学校番号	３０４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　論理国語」（三省堂）						
副教材等	「ニューフェイズ　現代文３」（第一学習社） 「四訂版　入試頻出漢字＋現代文重要語彙　TOP２５００」（いいずな書店） 「新訂総合国語便覧」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生ではこれまで身に着けた基礎的な国語の力をさらに発展させ、臨機応変・自由自在に使いこなせる実践力を身につけましょう。
・自分の考えを文章にする機会や、自分の言葉で伝える発表など、自主的な活動を取り入れた授業を行います。
・初読の様々な文章を読み取る集中力を高めます。
・最終学年ではこれまでの学びの集大成として、「自分で」読み・考え・書き・話すことを重視します。
・提出物の期限を守りましょう。学習は計画的に効率よく。そのためには自分のスタイルを編み出すことです。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができた。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めることができた。
【学びに向かう力、人間性等】
思いや考えを広げ、深め、言葉がもつ価値への認識を深めることができた。
自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使うことができた。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	言葉を見つめるⅡ ［教材］ ・「夢は何語で見る？」 ・「「対話」の言葉をつくる」 ・外来語について考える	a：言葉には言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ［書］：書くことにおいて情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にして主張を支える適切な根拠をそろえている。 ［書］書くことにおいて個々文章の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど文章全体、論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c：進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にし、自分の考えをまとめようとしている。いる。	定期考査	記述の確認及び分析 （ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト
	心と向き合う ［教材］ ・「恐怖とは何か」 ・「生命との関わり―精神科医として」 〈コラム〉「人の心」について考える	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]：読むことにおいて文書の構造や論理の展開、表現の仕方について書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 [読]：読むことにおいて設定したテーマに関連する複数の文章や資料を基に必要な	定期考査	記述の確認及び分析 （ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト

		情報関連付けて自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 c:進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開や表現の仕方について多面的・多角的な視点から評価し、文章の内容をもとに自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。			
二学期	経済について考える ［教材］ ・「落語の中の経済学」 ・「「欲望」と資本主義」 (コラム)「人新世」に生きる	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b[書]:書くことにおいて、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して目的や意図に応じた適切な題材を決めている。また、立場の異なる読み手を説得するために批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c:進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、自分の考えを論述しようとしている。	定期考査	記述の確認及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト
	リスク社会を生きる ［教材］ ・「コンコルドの誤り」 ・「リスク社会論」 (コラム)レジリエンスとは何か	a:・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について、理解を深め使っている。さらに、推論の仕方についても理解を深め使っている。 b[書]書くことにおいて、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c:進んで推論の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって文章全体の論理の明晰さを確かめて自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫し、論述しようとしている。	定期考査	記述の確認及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト
三学期	近代・現代社会を考える ［教材］ ・「現代日本の開化」 ［教材］	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文書の構成や展開の仕方について理解を深めている。また、推論の仕方について理解を深めている。 b[書]:書くことにおいて情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして。主張を支える適切な根拠をそろえている。また、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:進んで文章の構成や推論の仕方について理解を深め、学習課題に沿って見通しを持ち、自分の考えを短い論文にまとめて批評しあい、お互いの主張を理解しあおうとしている。	定期考査	記述の確認及び分析 (ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等) 宿題テスト 小テスト

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間